



2023-24 年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Report Niigata



2023~24 年度
新潟ロータリークラブ会長

内山 博之

新潟 RC 1 月第 4 例会 (2024.1.30) (Zoom 例会併催) No.3492

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 内山 博之会長挨拶

皆さんこんにちは。早いもので明日で 1 月も終わりであります。1 年の始まりといえますと現在の旧暦では 1 月 1 日で固定されておりますが、これは 1872 年(明治 5 年)に旧暦から切り替えられたそうです。月の満ち欠けを基準とした旧暦では、1 月 22 日から 2 月 19 日までの間の新月の日が旧暦の正月つまり旧正月となります。また一方で、太陽の黄道上の動きを基準に決められる二十四節気における立春も 1 年の始まりの日とされていて、今年の立春は 2 月 4 日となっています。月由来の旧正月と太陽由来の立春が暦の上で共存しているわけです。私が少し学んでおります算命学という学問があります。これは古代中国発祥の占術でして生年月日からその人の宿命を算出する学問であります。先日の講義で、本年 2024 年がどのような年になるのかというお話を聞いてまいりましたのでご紹介したいと思います。算命学では先ほどご紹介しました二十四節気の立春である 2 月 4 日から 1 年がスタートいたします。2024 年は、甲辰(こうぼくのたつ)です。甲は亀の甲羅の甲でありまして、この甲を固い殻を破った物と考えますと春に殻を破って新しく出てきた草木の芽を表しています。固い殻を破って新しい芽が出てくるわけですから、これは物事の始めとか始まりを意味してまして新しいものの始まりと考えられます。そして辰は龍ですから、十二支の中で唯一架空の動物でして、無いものがあるわけですから、これは今までに無かった新しい何か生まれることを表しています。つまり、甲辰の 2024 年は、内に秘めていたものが表にでてくる年になり、新しい創造活動が始まる。ただ秘めていたものが必ず正しいものとは限らないから悪いものが表に出てくることもある。そうすると淘汰され正され修正されることになる。甲辰は、発展しやすい年であります。ちょうど 60 年前の甲辰(1964 年)は東京オリンピックや東海道新幹線が開業した年でした、この年からいざなぎ景気が始まり日本は高度経済成長が

始まったと言ってもよいと思います。甲辰の年に、発展・繁栄して活気づいた国は、その後数年に渡って、あるいは 10 数年に渡って発展が続きやすいと言われてまして、逆に言えば、この年に伸びない国は、その後低迷が長く続きやすい。時代は陰陽が交互に来るものでして、高度経済成長が始まった 1964 年から 30 年間とは好景気でありましたが、次の平成の 30 年間は不景気で、円高に苦しみ GDP も横ばいで、経済は低迷しました。陽陰と来たわけですから、次は陽の時代が来やすいんです。もし陽陰陰となってしまったら日本沈没になってしまいます。表干と裏干が拮抗した 2020 年から 6 年間で 2025 年で終わり、2026 年からは表干に大きく振れる時代が続くこととなります。時代の気が裏側から表側へ大きく変わることになるので、このような時期には「大きな組織が崩壊」したり「権力構造が転換」したり、これまで「あって当然だ」と考えられていたものが、あっけなく消えていくことになる。いわゆるパラダイムシフトが進行していくわけですが、それに至る 2024 年は波乱に満ちた年になりそうです。2023 年も振り返れば、ジャーニー事務所が屋号を下ろしたり、自民党の主要派閥による裏金問題、能登半島地震や日航機衝突炎上事故まで起きました。私たちにとって歴史の大きな転換点となりうるものが、昨年世の中を席卷した Chat GPT に代表される生成 AI の発展です。2024 年はそんな変化がさらに加速される可能性があります。改めて 2024 年・甲辰の 1 年は、新しい 10 年の始まりの年であり、古いものや悪いもの、いらぬものが淘汰され新しいものによっていく年となります。皆さんにとって飛躍の年となることをご祈念申し上げまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

(3) 委員会報告

本多晃財団委員長より姉妹クラブである、香港島東 RC
創立 70 周年記念式典参加ご案内

期日 2024 年 4 月 6 日

時刻 午後 6 : 15 受付 7 : 15 開会

会場 Hong Kong Ocean Park Marriott Hotel

チケット HK\$1,954

ドレスコード ブラックタイ

出発 4 月 4 日 帰国 7 日を予定しております。

参加を希望される方は本多財団委員長へお申し込み下さい。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(高橋 智則委員)

石橋 正利君

青少年育成基金寄付発表(高山 克幸委員長)

本間 疆君

(5) 幹事報告(小川 潤也幹事)

㈱クマヒラ・ホールディングスさんから今年も、「抜粋
のつゞり」を贈呈いただきましたのでお持ち帰り下さい。

(6) 1 月 30 日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
85	82	55	67.07

Zoom 参加 12 名

2 月 6 日の例会予定

第一例会につき卓話はございません

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>